

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成28年4月】

■調査概要（データ対象期間：平成28年4月1日～4月30日）

- 調査期間：平成28年5月9日～5月20日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業25企業、製造業23企業、卸売業13企業、小売業34企業
飲食業15企業、サービス45企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計155企業>
- 調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

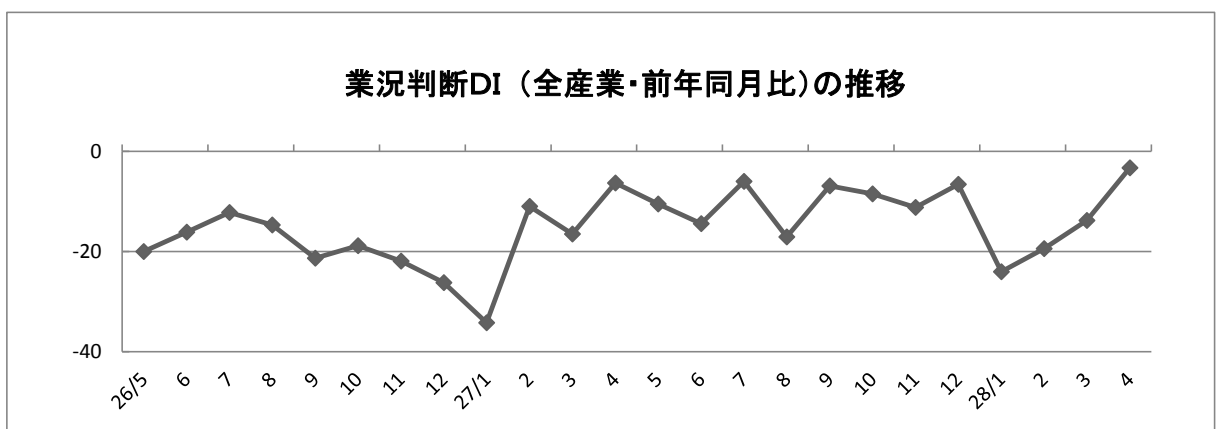
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲13.8）よりマイナス幅が10.5ポイント縮小し、▲3.3となった。業種別では、小売業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、製造業、サービス業、建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲13.2）よりマイナス幅が2.9ポイント縮小し、▲10.3となった。業種別では、製造業、飲食業は0からマイナスとなった。小売業、サービス業、卸売業、建設業はマイナス幅が縮小した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	16.1 (14.5)	64.5 (57.2)	19.4 (28.3)	↗ ▲ 3.3 (▲ 13.8)	15.5 (18.4)	58.7 (50.0)	25.8 (31.6)	↗ ▲ 10.3 (▲ 13.2)
建設業	12.0 (4.2)	68.0 (58.3)	20.0 (37.5)	↗ ▲ 8.0 (▲ 33.3)	8.0 (4.2)	76.0 (58.3)	16.0 (37.5)	↗ ▲ 8.0 (▲ 33.3)
製造業	17.4 (23.8)	56.5 (42.9)	26.1 (33.3)	↗ ▲ 8.7 (▲ 9.5)	26.1 (33.3)	43.5 (33.4)	30.4 (33.3)	↘ ▲ 4.3 (0.0)
卸売業	15.4 (13.3)	61.5 (66.7)	23.1 (20.0)	↘ ▲ 7.7 (▲ 6.7)	15.4 (13.3)	61.5 (60.0)	23.1 (26.7)	↗ ▲ 7.7 (▲ 13.4)
小売業	26.5 (15.2)	55.9 (57.5)	17.6 (27.3)	↗ 8.9 (▲ 12.1)	20.6 (24.2)	50.0 (42.5)	29.4 (33.3)	↗ ▲ 8.8 (▲ 9.1)
飲食業	20.0 (13.3)	46.7 (60.0)	33.3 (26.7)	↗ ▲ 13.3 (▲ 13.4)	20.0 (20.0)	40.0 (60.0)	40.0 (20.0)	↘ ▲ 20.0 (0.0)
サービス業	8.9 (15.9)	80.0 (59.1)	11.1 (25.0)	↗ ▲ 2.2 (▲ 9.1)	8.9 (15.9)	68.9 (52.3)	22.2 (31.8)	↗ ▲ 13.3 (▲ 15.9)

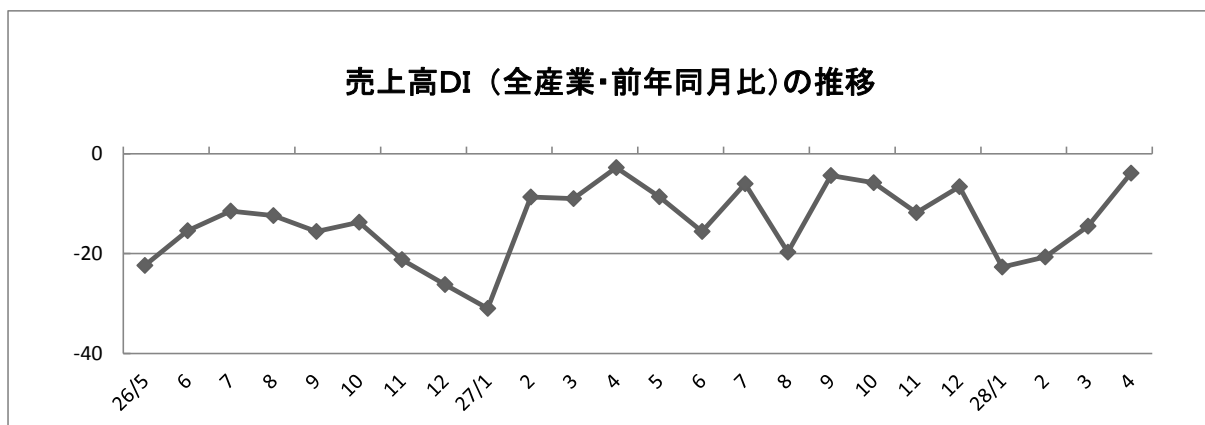
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲14.5）よりマイナス幅が10.6ポイント縮小し、▲3.9となった。業種別に見ると、製造業、小売業はマイナスからプラスに転じた。サービス業はマイナスから0になり、飲食業は変化なかった。建設業はマイナス幅が縮小し、卸売業はマイナス幅が拡大した。

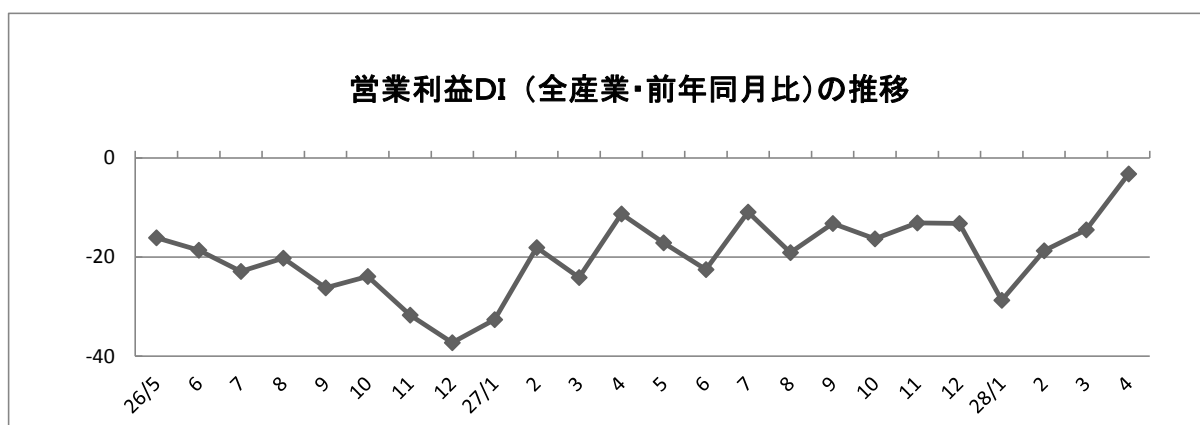


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
全 体	▲2.8	▲8.6	▲15.6	▲6.0	▲19.7	▲4.4	▲5.8	▲11.8	▲6.6	▲22.7	▲20.7	▲14.5	▲3.9
建 設 業	▲15.0	▲16.0	▲12.5	▲30.4	▲40.0	▲25.0	▲4.0	▲20.9	▲16.0	▲24.0	▲32.0	▲16.7	▲12.0
製 造 業	5.0	0.0	▲13.7	15.0	0.0	8.3	▲40.0	35.0	0.0	▲20.8	▲19.1	▲9.5	4.4
卸 売 業	0.0	▲25.0	▲18.8	▲11.7	▲11.8	5.9	▲6.6	▲18.7	▲21.5	▲28.6	▲6.2	▲13.3	▲15.4
小 売 業	▲21.2	▲20.0	▲27.0	▲18.0	▲25.0	▲15.1	▲18.1	▲25.0	▲12.5	▲43.7	▲34.3	▲18.1	2.9
飲 食 業	▲8.4	6.7	▲7.1	▲12.5	▲11.1	0.0	7.2	▲28.6	▲6.2	▲6.2	▲38.5	▲20.0	▲20.0
サービス業	14.7	0.0	▲10.6	10.0	▲20.4	2.2	13.1	▲9.5	4.3	▲10.3	▲4.7	▲11.4	0.0

3. 営業利益DI（前年同月比）

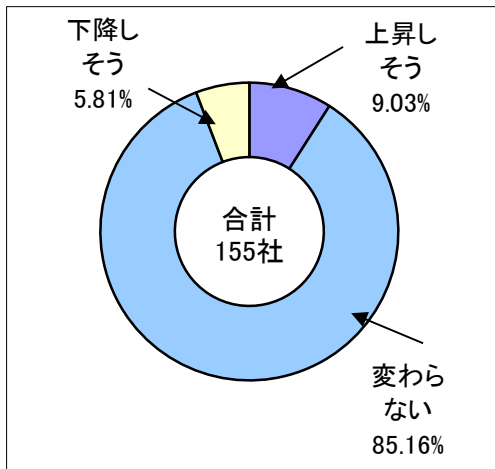
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲14.5）よりマイナス幅が11.3ポイント縮小し、▲3.2となった。業種別に見ると、卸売業はプラス幅が拡大した。小売業はマイナスからプラスに転じた。製造業、サービス業、建設業はマイナス幅が縮小した。飲食業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

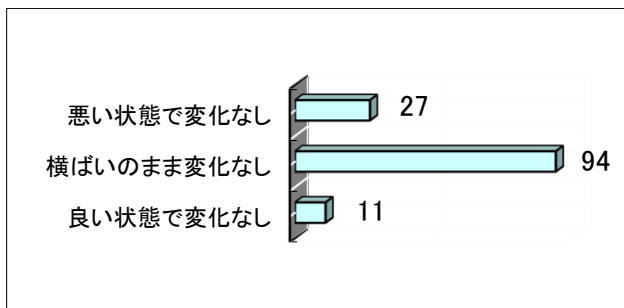
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
全 体	▲11.3	▲17.1	▲22.5	▲10.9	▲19.1	▲13.2	▲16.3	▲13.1	▲13.2	▲28.7	▲18.7	▲14.5	▲3.2
建 設 業	▲20.0	▲32.0	▲33.3	▲39.2	▲32.0	▲33.3	▲36.0	▲20.8	▲32.0	▲40.0	▲48.0	▲29.1	▲4.0
製 造 業	▲10.0	▲30.4	▲31.9	15.0	▲17.4	0.0	▲30.0	20.0	▲5.3	▲25.0	▲9.6	▲9.5	▲8.7
卸 売 業	▲6.2	▲18.7	▲6.3	5.8	▲11.8	17.6	0.0	0.0	▲14.3	▲28.6	31.3	13.3	30.8
小 売 業	▲39.4	▲17.1	▲29.7	▲20.5	▲19.4	▲24.2	▲42.4	▲30.6	▲9.4	▲34.3	▲34.4	▲18.1	5.9
飲 食 業	▲16.7	▲6.7	▲7.1	▲31.2	▲11.1	▲11.8	0.0	▲28.6	▲25.0	▲31.2	▲46.2	▲20.0	▲33.4
サービス業	14.6	▲6.1	▲17.1	0.0	▲18.1	▲13.7	8.7	▲9.5	▲4.3	▲17.9	▲4.6	▲13.7	▲6.7

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成28年5月～平成28年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.45ポイント増加し9.03%、「下降しそう」が5.38ポイント減少し5.81%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.0)、製造業(8.7)、卸売業(0.0)、小売業(2.9)、飲食業(0.0)、サービス業(6.7)であった。

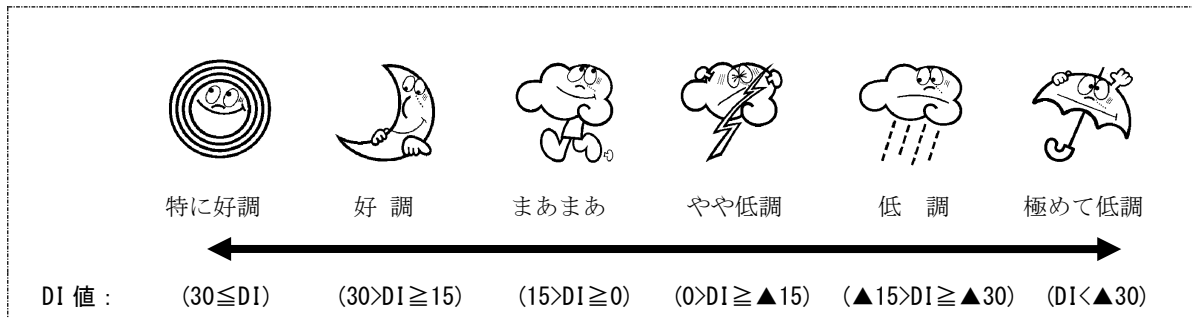
➡「上昇しそう」では、「県発注の公共工事が8月までに80%発注されるため」(建設業)、「ガスマーター交換需要期のため」「受注が増加するため」「甘酒、清酒、純米酒系の売上が前年を上回っているため」(製造業)、「5月以降回復基調のため」(卸売業)、「新規事業を始めたため」「人出が期待できるため」「インバウンドが増えているため」(小売業)、「ゴールデンウィーク、修学旅行、夏休みがあるため」(飲食業)、「予約が昨年より多いため」「繁忙期に入るため」「新商品の売上が増加しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。



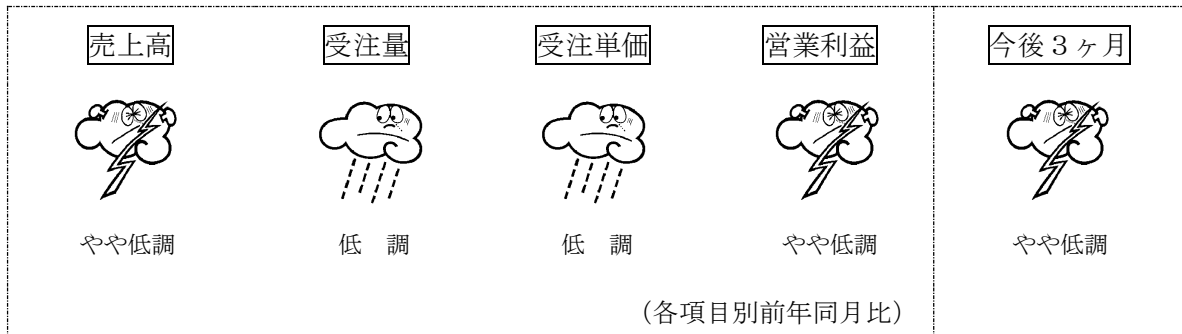
➡「下降しそう」では、「今後の受注が少ないため」「例年、年度当初の4月、5月、6月は業績が良くないため」(建設業)、「土産品が売れないため」「例年5月、6月、7月は低調のため」(製造業)、「下降が続いているため」(卸売業)、「レジャーへの支出が増え、その他の消費行動が抑えられるため」(小売業)、「2月頃より徐々に売上が下降を始め、下がり幅が拡大しているため」(飲食業)、といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0
受注量	▲ 15.0	▲ 12.0	▲ 20.8	▲ 34.8	▲ 36.0	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 16.7	▲ 16.0
受注単価	0.0	8.0	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 16.0
営業利益	▲ 20.0	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0
見通し	▲ 5.0	4.0	▲ 8.3	8.7	0.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0	8.0	0.0	▲ 4.0

<経営者の目・見方・etc>

建築工事

鉄工

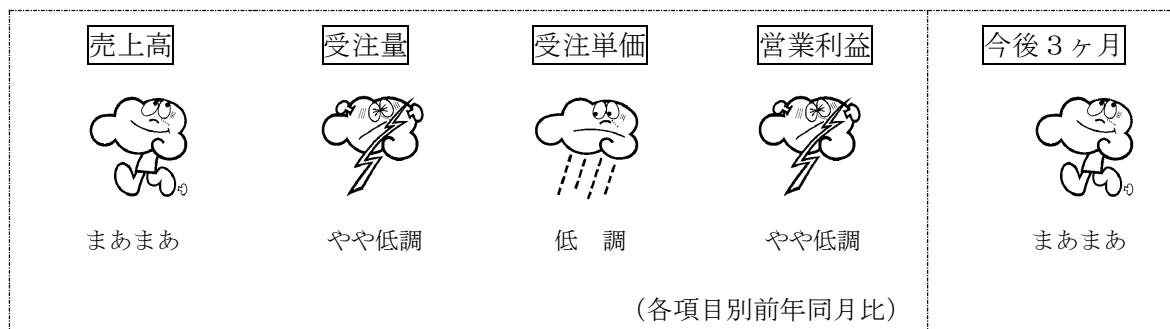
管工事

総合建設

電気工事

- ・一般の受注量は悪くないが、工事単価が低いいため売上高は伸びていない。
- ・昨年に比べ受注が厳しい状況である。先月は好調であったが今後は厳しい見通しである。しかし、秋にかけては受注が増えそうな状況と思われる。
- ・首都圏など都心部における再開発の影響で、大型物件の着工が始まる。また、老朽化設備の更新、東京オリンピック関連施設建設が考えられるため、今夏以降に需要が上昇し、来年以降にピークを迎えると見込まれる。
- ・小規模事業者の見積等が多少増えてきている。
- ・受注はあったが一時的なもので長続きせず、今年もあまり期待出来ない状況である。
- ・大型建築工事発注はあるが、土木工事は無い状況である。
- ・新年度に入ったが、新規工事が全く無い状態が続いている。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
売上高	5.0	0.0	▲13.7	15.0	0.0	8.3	▲40.0	35.0	0.0	▲20.8	▲19.1	▲9.5	4.4
受注量	▲5.0	▲4.4	▲27.3	▲5.0	▲17.4	4.2	▲30.0	20.0	▲5.3	▲12.5	▲19.1	▲4.8	▲4.4
受注単価	▲25.0	▲17.4	▲31.8	▲20.0	▲17.4	▲8.4	▲25.0	▲10.0	▲21.1	▲25.0	▲14.3	▲28.5	▲17.4
営業利益	▲10.0	▲30.4	▲31.9	15.0	▲17.4	0.0	▲30.0	20.0	▲5.3	▲25.0	▲9.6	▲9.5	▲8.7
見通し	5.0	8.7	0.0	▲5.0	▲17.4	▲4.2	▲10.0	5.0	▲15.8	4.2	14.3	▲33.3	8.7

<経営者の目・見方・etc>

小型情報機器組立

・円高の成り行きが心配である。

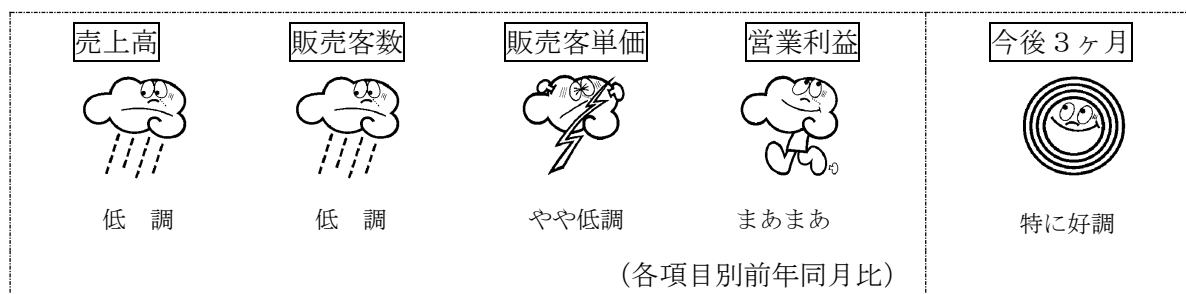
酒類

・桜のシーズンは欧米人の観光客が3年ほど続いて多い。今年も観光客の動きとして、日本人は例年並みか、若しくは少し動きが悪いが、外国人観光客は2割増しである。日本食への関心に伴って、日本酒にも興味を示す傾向がある。業界全体では、純米酒の系統が前年対比105～110%の出荷量で伸びている。また、イベント等で日本酒への関心を強化するなど、業界全体で盛り上げる努力をしており、多少の効果が出てきている。

金属塗装

・先月中旬から急激に受注、売上が減少し、今月も低迷している状況である。円高と中国の景気減速が大きく影響している。

3. 卸売業



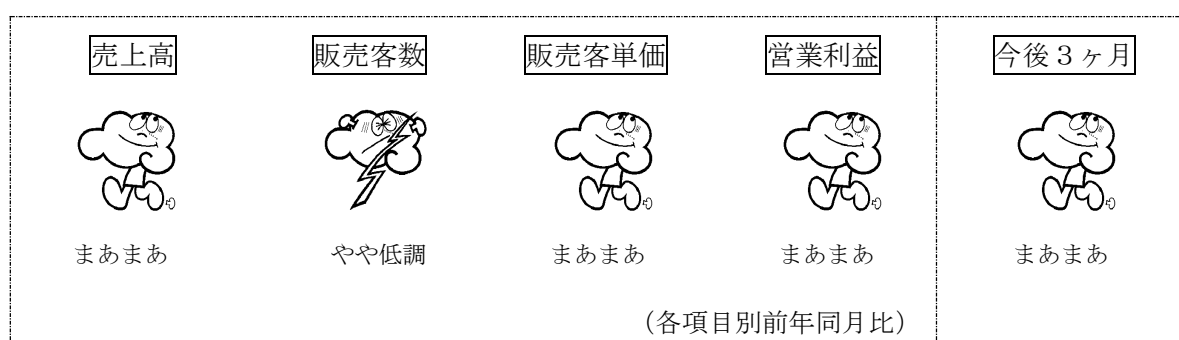
【項目別DIの推移】

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
売上高	0.0	▲25.0	▲18.8	▲11.7	▲11.8	5.9	▲6.6	▲18.7	▲21.5	▲28.6	▲6.2	▲13.3	▲15.4
販売客数	▲18.7	▲12.5	▲18.8	▲23.5	▲23.5	▲17.6	▲13.3	▲25.0	▲28.6	▲35.7	▲6.3	▲6.7	▲23.1
販売客単価	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲6.6	▲25.0	▲21.5	▲42.9	0.0	0.0	▲7.7
営業利益	▲6.2	▲18.7	▲6.3	5.8	▲11.8	17.6	0.0	0.0	▲14.3	▲28.6	31.3	13.3	30.8
見通し	6.3	0.0	▲6.3	0.0	11.8	5.9	6.7	▲12.5	▲21.4	7.1	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

土産品	・観光シーズンがようやく始まる季節になり、期待が高まっている。全体的に上昇傾向である。
青果	・御柱等の行事もあり人の動きはあったが地域に限られており、当市場においては大きな動きはなかった。大きな天候被害もなく入荷は順調であったため入荷微増、単価安となり、売上は減少した。
機械工具	・好調な客先の動きに追従出来た。先が読みづらく、安定しない状況である。
金属製品	・例年同様、第一四半期は民間、公共工事共に予算組みの段階のため、動きは鈍い。首都圏、地元共に仕事が少ない状況が続いている。
自転車	・例年並みの業績であった。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
売上高	▲21.2	▲20.0	▲27.0	▲18.0	▲25.0	▲15.1	▲18.1	▲25.0	▲12.5	▲43.7	▲34.3	▲18.1	2.9
販売客数	▲12.1	▲5.7	▲24.3	▲10.3	▲30.6	▲27.2	▲18.2	▲11.2	▲9.4	▲43.7	▲37.5	▲24.2	▲3.0
販売客単価	▲6.0	▲2.9	▲16.2	▲12.8	▲22.2	▲12.1	▲27.2	▲22.2	▲15.7	▲15.7	▲37.5	▲9.1	0.0
営業利益	▲39.4	▲17.1	▲29.7	▲20.5	▲19.4	▲24.2	▲42.4	▲30.6	▲9.4	▲34.3	▲34.4	▲18.1	5.9
見通し	6.1	2.9	2.7	▲7.7	2.7	0.0	▲15.2	▲2.8	0.0	▲3.1	0.0	6.1	2.9

<経営者の目・見方・e t c>

住宅機器	・1月から低迷が続いている。
観光物産	・4月後半より、若干であるが交通量、お客様の増加がみられた。5月後半の連休の天気が気にかかる。
化粧品	・イオンモール計画の概要、市議会からの構想の発表があった。今後の中心市街地、商店街のあり方を真剣に考えていかなければならないと改めて感じた。 ・熊本地震の後、消費意識が低下したように感じる。
菓子	・松本城、中町通りの人気で、ゴールデンウィーク前からインバウンドを含め多くの観光客が松本を訪れていた。ゴールデンウィーク後の中だるみが心配だが、月末のクラフトフェアに期待している。
パン	・売れ行きは例年並みであった。スタッフ募集広告が目立つようになってきた。
書籍・木のおもちゃ	・外商を中心に忙しく学校まわりをしたが、前年比マイナスの売上で厳しい状況は続いている。
薬局	・観光客も増え、天気も良く、人が多い日々であった。

書籍
印章

自転車
陶磁器

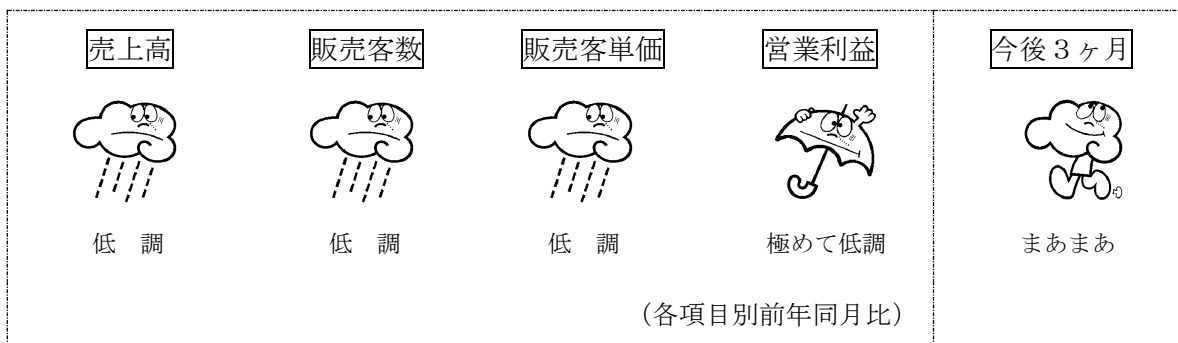
ガラスサッシ

ショッピングセンター

生鮮食品

- 客数、単価共に引き続き良くない。全国的に店舗数は減少している。
- 熊本大震災で九州各地の同業者が多大の被害を受けていると聞く。何とか元の様な営業が出来ることを祈っている。
- 松本山雅のホームゲームの入場者が、随分と減っているのが気になる。試合後の街中への人出にも響いている。熊本の震災で熊本城に行く予定だった方々が松本城を訪れているという状況から、海外からの観光客が例年になく多く感じる。
- 高額の商品が多数売れたので、前年対比は300%増加であった。
- 昨春の観光は、北陸新幹線と御開帳一色だったが、今年は上田の真田丸と諏訪の御柱祭である。松本山雅FCも順調に勝ち点を重ねている。また、松本初の地ビール発売、歌舞伎チケット完売、初夏にはワインイベントと今年の夏も熱くなりそうである。
- 従来の卸問屋が消えつつある。また、元請け工業者に極端な値引きを迫られ、仕事をすればするほど赤字が膨らみ苦しい状況を迫られている同業者が存在している。また、高齢化と後継者不足のため廃業した会社もあり厳しい状況が窺える。
- 上旬、中旬の街場の動向が落ち込んだが、連休前から回復傾向が見られたのでトータルでは順調な月となった。ゴールデンウィークは3連休が2回であったので、昨年に比べて遠出を避ける傾向があった。
- 前半は静かであったが、後半はお祭りなどで人の動きが多く、前年の売上を上回った。

5. 飲食業








【項目別DIの推移】

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 8.4	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0
販売客数	0.0	6.7	▲ 7.1	▲ 6.2	0.0	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 46.1	▲ 13.4	▲ 20.0
販売客単価	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 20.0
営業利益	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4
見通し	16.7	▲ 6.6	14.3	12.5	▲ 22.2	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2	15.4	▲ 6.6	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

創作料理	<ul style="list-style-type: none">・3月までの忙しさが過ぎ、4月は普段の様子に戻った。新年度の役員会がいくつかあったが落ち着いた。農繁期になり個人客は減少している。
寿司	<ul style="list-style-type: none">・宴会の利用が多少あるが、売上が全体的に低調である。 <p>桜の開花が例年よりも一週間近く早かったので人の動きも上旬から良かった。しかし、この時期に行われるイベントの準備が間に合わず少し困ったが、結果は良かった。震災にあわれた熊本、大分の方達にお見舞い申し上げますと共に、自分達が無事仕事ができることを幸せに感じる。</p> <ul style="list-style-type: none">・宴会需要の後押しもあり、多くのお客様にご来店頂けた。送別会、歓迎会を別々に行うのではなく、歓送迎会として一回に集約してご予約頂くなどお客様の動向の変化を感じた。また、お客様のご要望・変化に沿った『待ち』の姿勢ではない販促、提案が、今後も鍵となると強く感じた。
仕出し料理	<ul style="list-style-type: none">・介護のために退職した従業員の補充雇用が確保出来ていない。他の業種でも同じような事を聞くが、人材確保は大変である。
ラーメン	<ul style="list-style-type: none">・海外からの観光客の接客に大変苦労している。今後は接客サービスが課題となってくる。
そば	<ul style="list-style-type: none">・今年は桜の開花が早く全体的に多忙であったが、桜のおかげで好調な月となった。
料理	<ul style="list-style-type: none">・山菜の季節だったが熊本の地震の影響でお客様の不安があり、来客数が減少した。
中華料理	<ul style="list-style-type: none">・松本城の夜桜は相変わらず人気だが、大名町で行われた三の丸倶楽部「夜桜Bar」も大変な人気だった。また、その時に披露された松本地ビールが今後の松本の観光資源になると大いに期待する。熊本地震にあわれた方々にお見舞い申し上げますと共に、「炊き出し機動部隊みらい」を通じ支援していきたいと考えている。
郷土料理	<ul style="list-style-type: none">・上旬は御柱祭、松本城の花見等で盛り上がり良好であったが、中旬以降静かになったのは時期的に地震の影響の可能性が考えられる。ゴールデンウィークの始まりは元の活気に戻った。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	やや低調	まあまあ	やや低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
売上高	14.7	0.0	▲10.6	10.0	▲20.4	2.2	13.1	▲9.5	4.3	▲10.3	▲4.7	▲11.4	0.0
販売客数	12.2	2.1	▲14.9	4.0	▲25.0	0.0	8.7	▲9.5	2.1	▲23.1	▲2.3	▲6.8	▲2.3
販売客単価	4.9	0.0	▲4.2	▲2.0	▲18.2	6.8	8.7	▲4.7	4.3	▲23.0	0.0	▲2.2	4.5
営業利益	14.6	▲6.1	▲17.1	0.0	▲18.1	▲13.7	8.7	▲9.5	▲4.3	▲17.9	▲4.6	▲13.7	▲6.7
見通し	2.5	▲2.0	0.0	10.0	9.1	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0	▲2.3	6.7

<経営者の目・見方・e t c >

- | | |
|-------------------|--|
| 温泉旅館 | ・3月まで不況であったため、4月は多忙に感じられた。春と共に忙しさを感じている。 |
| 温泉旅館 | ・上高地に40年間居るが、こんなにも雪の少ない4月は初めてであった。除雪作業は順調に進み、開業もスムーズに進めることができたが、残雪を楽しみに毎年訪れる台湾や中国の日帰り団体さんにとっては残念だったようである。
・熊本の震災を受けて、10%～20%価格を下げて設定したため、宿泊客は30名増加、宿泊単価は減少した。 |
| 宿泊
ホテル
タクシー | ・上高地開山祭より営業を開始。雪が少なく各施設共、準備が順調に行われた。
・桜の時期の宿泊需要はインバウンドを中心として好調であった。
・4月15日には上高地及び、沢渡のタクシー配車センター開所に向けた準備作業を行い、27日には上高地開山祭が行われ観光シーズンに入った。 |
| 機械設計 | ・4月は売上がなく、忙しくなるのは6月からと予想される。しかし、全体的にみると例年並みである。 |
| ソフトウェア | ・既存システムをクラウドへ移行するプロジェクトにいくつか参加した。一時期より、セキュリティに関する不安よりも、中小企業にも手を出したい利便性が注目されている。但し、業務系では実装されるシステムが旧態依然としたものであり、業界の構造的な問題が大きい。 |
| 獣医 | ・狂犬病予防集合注射が4月～5月にかけて各地で行われている。全体の3割程度の犬は動物診療施設で接種されているが、任意の混合ワクチンとは約1ヶ月間隔をあければ安全に予防できる。新規の登録犬が減少傾向になっているのが気になる。 |
| 介護サービス | ・現在、福祉用具レンタル利用率は10%である。しかし、今後原則自己負担へと制度が変更される流れがあると聞く。もし、お客様の負担が増える方へ変更が進められてしまったら、利用抑制につながるのではないかと危惧している。 |
| 自動車整備・
板金塗装 | ・上半期も始まり活発な動きがあるかと思われたが、全く静かな始まりであった。先行きが不透明である。 |

専門学校	・職業訓練受講者数は前年と比べ減少しているが、雇用情勢の改善を受けて訓練受講者の就職は好調である。
ホームクリーニング・リネンサプライ業	・人出不足が深刻である。
理容	・全体的に横ばいであった。
美容	・入学シーズン、ゴールデンウィークと駅前も賑わっていたが、その反動で5月は静かな日が続いている。この時期に新しい取り組みを考えたい。
保険	・日銀のマイナス金利政策が気になる。
マナー講師	・年度初めは新入社員研修などが続いている。最近では新入社員研修が増加傾向にある。
ペットサービス	・来店数、売上共に前年を上回った。ゴールデンウィークのホテル予約数が伸びている。新メニューも好調である。

